

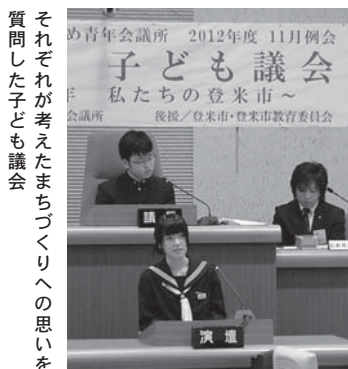
子ども議会 25人登壇

市内中学生が市政に質問



実際の議場で開催された子ども議会。緊張感がありました

11月11日、市役所議場において「子ども議会」が開催されました。とめ青年会議所（大畑好司理事長）の主催で今年が4回目。当日は、市内10校



それぞれが考えたまちづくりへの思いを質問した子ども議会

の中学校から選ばれた2、3年生25人が登壇し、市政についてそれぞれ質問。布施孝尚市長、片倉敏明教育長らが市の考え方を答弁しました。

今年の子ども議会は、佐沼中3年の千葉陵弥さんが議長を務め議会を進行しました。小学校での英語の学習について質問した石越中3年の齋藤愛美さんは「質問は、自分が普段生活している中で疑問に思っていたことを聞きました。市からの回答も理解できました」とほっとした表情でした。

次代につなぐ森づくり

東和町米川で植林体験

「市民参加の新たな森林づくり秋・植樹祭」が、11月20日、東和町米川地内の米川森林組合有林内で開催されました。この事業は県の「みやぎ環境交付金」を活用して実施したものです。

ヤマガクラの苗木600本を一本一本丁寧に植えていきました。低学年の児童は、コナラなどのドングリの種まきを行いました。



植林終了後、みんなで記念撮影

植樹祭に参加した児童は、「自分が植えた苗木が大きくなって、立派な森になるのが待ち遠しいです」と、笑顔で話していました。

人命救助5人に感謝状

通報、協力して応急手当

倒れていた急病人の救命に協力したとして、市民5人に菅原輝雄消防長から感謝状が贈られました。

小竹秀悦さん（中田町・町）。10月13日午後1時10分ごろ、市内追町の県道沿いに倒れていた76歳の男性を大石さんが発見し119番通報。救急車が着くまでほかの4人が協力し、男性をおおむけにして交代で心臓マッサージを行いました。その後、男性の容体は快方に向かっています。



菅原消防長（右）から感謝状を贈られる大石さん（11月27日・消防本部）

米山丸山太鼓が優勝

東北和太鼓競演大会

第26回東北和太鼓競演大会（栗原市文化協会主催）が11月18日、栗原市栗駒の「みちのく伝創館」で開催され、登米市の米山丸山太鼓（久保泰宏代表）が見事優勝しました。本大会での優勝は3回目となります。

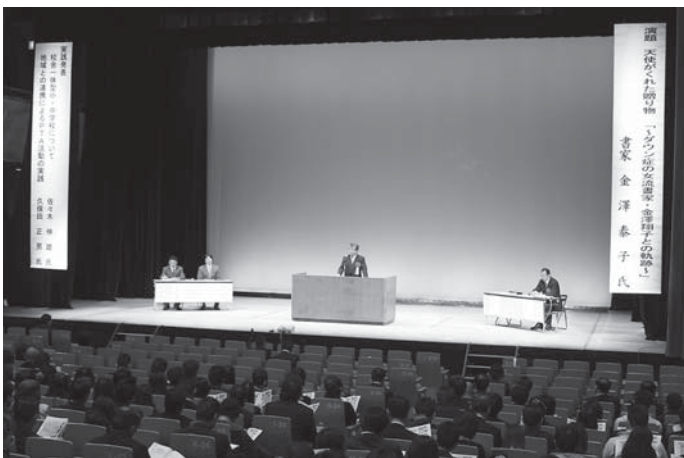
登米市からは丸山太鼓のほか登米春風太鼓（中田町）が出場し、準優勝を獲得しました。米山丸山太鼓の久保代表は「この大会には自分たちの技術を磨くために毎年出場している。丸山太鼓は子どもたちが多いので、こういう賞は大きな励みになる」と話していました。



優勝を喜ぶ米山丸山太鼓のメンバー

県内のPTA会員集う

第61回研究大会に600人



実践発表で、小中一貫校（豊里小・中学校）の取り組みが子どもたちや親にも良い影響を与えたと話す佐々木さん（中央）

今年で61回目を迎える県PTA研究大会が11月10日に登米市で開催。会場となった登米祝祭劇場には、県内の小、

中学校のPTA会員約600人が参加しました。登米市での開催は、平成17年以来7年ぶりです。

大会では、県PTA表彰が行われ、優良PTAとして津山と石越中のPTAが、県広報紙コンクール入賞団体として、米川小、南方中、登米中のPTAがそれぞれ表彰されました。

また、初代の市PTA連絡協議会会長を務めた佐々木信雄さん（豊里町・新町）が「小中一貫校の取り組み」と題して実践発表しました。

国の6次産業化法認定

今泉営農組合とPFTサービス

平成24年10月30日付で米山の今泉営農組合（芳賀光章代表）と南方町の有PFTサービス（後藤政浩代表取締役）が、農林水産大臣から6次産業化法に基づく事業計画の認定を受けました。

これで、6次産業化法に基づく市内の認定事業者は、(株)オジマスカイサービス（中田町）

と(有)伊豆沼農産（追町）に続き、4事業者となりました。6次産業化法の認定を受けた今泉営農組合の芳賀さんは餅やドレッシングの製造などに、PFTサービスの後藤さんはインドネシアへのササニシキの輸出に本格的に取り組んでいきたいと意欲を話していました。



6次産業化に基づく農林水産大臣の認定証を手にし、布施孝尚市長（中央）に報告に訪れた、今泉営農組合の芳賀さん（左）とPFTサービスの後藤さん